※令和４年度以降入学生用

学校番号	410

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典講読	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	『精選古典探究』（大修館書店）						
副教材等	自作プリント等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・古典作品に興味をもって探求してください。古典文法や平安文化、同じ日本国が古今においてどのような違いがあるのか、どのようなことが同じであるのかその「差」に興味をもって学習してください。
・授業では黒板を写すだけでなく、自分がまとめたことや、調べたことは積極的にメモをとりましょう。
・古典文学に苦手意識のある人も、まず音読からはじめましょう。声に出して読むことで、独特のリズムや表現を味わい、その世界を楽しみましょう。

2　学習の到達目標

・古典に用いられている語句の意味、用法を深く理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やし、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。
・我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めることができる。
・読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めることができる。
・作品の内容や解釈を自分の考えと結び付け、考えを広げたり深めたりすることができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。２年次までに学習した文法事項や語彙、古典常識の着実な定着を目指すとともに、様々なジャンルの古文・漢文を丁寧に読むことで、古典に親しみ、その理解を深めることを目的とする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の伝統的な古典分野において理解をさらに深めることができるようにする。	古典作品を通して先人の物事の見方，感じ方，考え方などと関わる中で伝え合う力を高め，また考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	古典作品を通じて自分の体験や経験に引き寄せて考え、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	説話・史記 ［教材］ 十訓抄「大江山いくのの道」 史記「四面楚歌」	a：古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語彙を豊かにしている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 c：古典特有の表現に注意して展開のおもしろさを味わい、学習課題に沿って、説話を正確に読み取ろうとしている。	行動の観察 ノート 定期考査	行動の観察 ノート 定期考査	行動の観察 ノート 振り返りシート
	物語・思想 ［教材］ 堤中納言物語「虫めづる姫君」 論語	a：古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語彙を豊かにしている。 b[読]：古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、自分の考えを広げたり深めたりしている。 c：文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、作者の価値観を理解しようとしている。	行動の観察 ノート 定期考査	行動の観察 ノート 定期考査	行動の観察 ノート 振り返りシート
2学期	日記・物語 ［教材］ 紫式部日記 「和泉式部と清少納言」 大鏡「肝だめし」	a：古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b[読]：構成や展開などを的確に捉えている。 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら作品を読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 c：日記における作者の人物像をつかもうとしている。	行動の観察 ノート 定期考査	行動の観察 ノート 定期考査	行動の観察 ノート 振り返りシート
	物語 ［教材］ 雨月物語「浅茅が宿」	：古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語彙を豊かにしている。 b[読]：古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、自分の考えを広げたり深めたりしている。 c：文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、作者の価値観を理解しようとしている。	行動の観察 ノート 定期考査	行動の観察 ノート 定期考査	行動の観察 ノート 振り返りシート
3学期	物語 ［教材］ 源氏物語「若紫との出会い」 ［教材］	a：作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 b[読]：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 c：平安時代の貴族文化を踏まえて、登場人物の境遇や心情を理解しようとしている。	行動の観察 ノート 定期考査	行動の観察 ノート 定期考査	行動の観察 ノート 振り返りシート

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと…（　）時間　　・書くこと…（20）時間　　・読むこと…（50）時間